

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立新居浜南高等学校

学校番号(6)

評 価 実 施 日	令和5年2月21日(火)
委員(11名)	所 属 等
	学校関係者評価委員 (総合学科育成会会長)
	学校関係者評価委員 (PTA会長)
	学校関係者評価委員 (総合学科育成会副会長)
	学校関係者評価委員 (PTA副会長3名)
	学校評議員5名

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>1 組織運営等</p> <p>○行事の中止や延期、縮小は仕方なかったと思う。令和5年度5月以降、スクラップビルドでやっていければと思う。</p> <p>○教職員のサポートが広く行き届いているように見える。安心して子供を任せられる。</p> <p>○高校は人間形成を育成する最終課程の場だと思う。教職員も健康でいられるよう、教職員相互で気持ち(モチベーション)が上がるように協力して環境づくりしてほしい。</p> <p>○教職員がそれぞれの持ち場持ち場で積極的に活動されており、全員が一丸となって学校運営に携わっている様子が分かる。</p>	<p>○今年度も昨年度、一昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、学校運営において影響が及んだ分野は少なくなかった。「できない」ではなく、「できること」「できる形態」「できる規模」を模索しながら可能な範囲での活動であった。マスクの着用の自己判断等、学校教育活動の制限が緩和される中で、工夫を凝らして来年度は取り組んでいきたい。</p> <p>○生徒だけでなく、教職員もコミュニケーション不足となる傾向が数年間続いたが、来年度以降は協働する場面を増やす中で、コミュニケーションの活性化を図り、それぞれの力を発揮できるような職場環境を目指したい。</p>
<p>2 教育課程・学習指導</p> <p>○一人一人が自分がやりたいことを考え、系列を選択し、学習に取り組むことができていると思う。</p> <p>○特色ある教育活動がよくできている。</p> <p>○選択できる分野が多くあり、2年次の選択科目は親子共々悩んだ記憶がある。幅広い学習に対応しているように感じた。</p> <p>○学力向上に向け、小テストの実施やフォローアップ等で、意識して教育する側、される側にウィンウィンの関係で実践してほしい。</p>	<p>○1・2年次については、新学習指導要領による教育課程の実践の中で、総合学科の特色を反映した教育について深く探究していく。</p> <p>○コロナ禍で活用できたりリモート等の授業方法や生徒一人1台端末を活用した個別最適化された教育の実践を推進し、全教職員がICT関連のスキルアップの継続を図る。</p> <p>○学習習慣の定着を促す上で、ICT機器の活用と対面指導それぞれの良さを認識し、状況に応じた実践を進めていく。</p>

<p>○総合学科の特性を生かした教育課程が編成されていて、生徒の多様なニーズに応じる工夫がなされている。また、授業に関する生徒用アンケートの数値が高く、充実した授業が行われていることを示している。学校教育の基本は授業であるから、授業の満足度が高いということは素晴らしいことだと思う。他教科に比べると、一人1台端末を使った教育の数値は少し低いので気になる。</p>	
<p>3 生徒指導 ○登下校中の生徒たち、挨拶がよくできている。 ○教育や安全面でのルール、マナーを守っている。 ○全般的に南高生は身だしなみが整い、品位を感じる。挨拶等をもう少し積極的にできるように指導をお願いしたい。 ○指導時の声掛けやコミュニケーションで互いの信頼関係を築いて良い方向に向かってほしい。</p>	<p>○生徒一人一人を大切にされた適切な生徒指導を継続していく。 ○交通安全に対する意識をさらに向上させ、法令遵守、マナーの向上について生徒が主体となって危機管理できるような指導を実践する。 ○交通事故ゼロを目指して指導を強化する。</p>
<p>4 進路指導 ○自分の希望する進路を実現できるよう、これからもお願いしたい。 ○進学、就職など適切な指導がなされている。 ○一人一人の状況や希望に沿った指導ができていると思う。 ○就職内定率100%、進学合格率ほぼ100%で、進路指導の成果が見られる。</p>	<p>○今後も、高校3年間を見通した進路指導を推進し、生徒個々の進路実現に結び付けていく。 ○総合学科の特性を生かした学習指導を実践し、系列ならではの進路指導を推進する。 ○組織としての指導の在り方を研究し、教員の負担感を軽減しながらも効率的な進路指導を推進する。</p>
<p>5 特別活動・ボランティア活動 ○中学校でも校外へ出ることが難しかった。令和5年度は充実したものにできると考える。 ○活動状況を見て、素晴らしい。 ○今年度は、まだコロナ禍で今一つだった感があるので、来年度はボランティア活動も広げていただきたい。ただし、参加人数が増えているようなので期待している。 ○コロナ禍で機会も減少していたが、これからはどんどん活動してほしい。また、創意工夫して新たな分野にもチャレンジしてほしい。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のための中止、縮小方針が続いてきたが、制限が緩和されるにつれ、従前のような活動規模に戻していきたい。 ○運動部・文化部ともに加入を促進し、生徒の活動を熱源に、学校全体の雰囲気をもさらに活性化していく。</p>

<p>○部活動とボランティア活動ともに活発に行われている。ボランティア活動は地域や地域の中学校などと連携して行われていて、成果を上げている。また、体育局のウエイトリフティング部もすばらしい成果を納めている。</p>	
<p>6 保健管理</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策がしっかりとできている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの対策がよくできている。</p> <p>○子供の体調不良時等、家庭にわざわざ教職員からこまめに連絡くださったので感謝している。生徒一人一人に心配りを継続お願いする。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの対応、ほけんだより等、管理ができていると思う。ごみ処理についての取組は休むことなく良い状態が定着するように頑張してほしい。</p>	<p>○感染症予防・拡大防止の方策は通常として定着してきた。教育活動の制限が完全に緩和されても、衛生面の意識・行動を継続していく。</p> <p>○自然災害への備えをはじめ、防災教育を含めた安全教育を推進するとともに、危機管理マニュアルを常に更新できるように必要な研修等を実践していく。</p> <p>○施設・設備を常に点検し、必要な整備を進め、安全・安心な教育環境を維持していく。</p>
<p>7 人権・同和教育、特別支援教育</p> <p>○人権・同和教育についての学習がしっかりとできている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者となった人への対応も適切になされている。</p> <p>○今後は行動制限が緩み、様々な方面での活動が活発化していく。時間に追われないように、気持ちにゆとりを持てるスケジュールで活動してほしい。</p>	<p>○人権問題について、生徒・家庭・教職員全体で共通理解を図り、人権意識に根差した言動を指導していく。</p> <p>○人権だより「皆見（みなみ）」を継続して発行し、生徒や家庭の人権意識の高揚に結び付け、啓発活動に努める。</p> <p>○オンライン等を利用した研修も取り入れ、ゆとりを持った活動を推進していきたい。</p>
<p>8 図書・研修</p> <p>○図書室の本を借りることに抵抗がある生徒もいると思う。今はデジタルでもある。</p> <p>○図書室が落ち着いた場所で利用しやすいことが良い。</p> <p>○広報の方法、研修に参加しやすいように相互協力が求められると思う。</p> <p>○図書室の環境整備などを通して図書室利用の指導が行われているが、貸出冊数では令和2年度から大幅に下がっている。一般的に言われている「読書離れ」のせいもあるのだろうか。</p>	<p>○図書室利用の在り方や利用促進の広報の方法についてさらに工夫して、図書室の魅力化を推し進めていく。</p> <p>○デジタル図書について、有用性を認めつつ、視力等を含めた健康面への影響など、今後の研究が必要である。</p> <p>○朝の読書の時間において継続可能な読書週間を定着していくことも貸出冊数の増加に結び付ける方策の一つである。</p>
<p>9 ICT（情報通信技術）教育</p> <p>○生徒たちの方がいろいろな知識と技術を持っている。それを活用してはどうだろうか。</p>	<p>○ICT機器を活用した授業を推進してきた結果、実際の活用実績は上がってきている。「やってみて使えた」教員から</p>

<p>○ホームページを時折見ているが、活動内容がよく分かる。</p> <p>○多忙な中、ホームページの更新等、業務で圧迫されることもあると思う。苦痛ではなく、楽しんでできるよう、そして教育方法も他校やSNSを使って、参考になることは実践してほしい。</p>	<p>の研修など、工夫して活用を促進していく。</p> <p>○ホームページの更新を、各校務分掌に依頼した結果、教員個々の当番制で実施していた一昨年度と比較して内容の充実度が増したように感じている。教員も「楽しんで」更新できるものを継続していきたい。</p>
<p>10 教育相談</p> <p>○とても大切なことだと考える。急な子供たちに対応できるよう準備ができていると良いと思う。</p> <p>○なかなか表面上に出てこない心の問題。日頃から対話することで悩み等を分かることもある。教員も生徒も皆がコミュニケーションカアップして明るい学校にしてほしい。</p>	<p>○スクールライフアドバイザーが生徒や保護者との相談業務に当たっている。その活用方法をさらに広報していき、利用を促進していきたい。</p> <p>○定期的なアンケートや面談等で、いじめの未然防止と早期発見・早期対応に引き続き努めていく。</p>
<p>11 保護者、地域住民との連携</p> <p>○地域や小、中学校に多くの場面で関わりを持ち、ともに活動してくれた。</p> <p>○角野公民館との連携がよくなされているように感じた。交流を継続していただきたい。保護者への配慮もよくなされている。</p> <p>○体育祭の入場制限、文化祭の中止・開催方法の変更、来賓招待中止、各種イベント縮小、中止で地域とのつながりが少なくなっている。来年度は徐々に盛り上げてほしい。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制限が少しずつ緩和される中で、徐々に地域等との交流や連携が回復基調である。令和5年度からの更なる制限緩和により、従前の活動が期待できる。</p> <p>○地元の角野公民館の評議員としての活動が新たに導入され、以前にも増して、地域連携が期待できる。</p> <p>○各種学校行事も盛り上がりが見込まれ、</p>
<p>12 「産業社会と人間」「総合的な探究の時間（ライフスタディⅠ・Ⅱ）」等</p> <p>○新居浜市市民文化センター大ホールでのライフスタディⅡ発表会がとても良かった。動画配信より対面が良い。</p> <p>○生徒を主体とするライフスタディⅡ発表会を毎年継続して行っていただいて、南高の学習レベルを地域にアピールしていただきたい。</p> <p>○ライフスタディの授業のすばらしさ、目的等をしっかり捉えて取り組んでほしい。モチベーションが上がるよう工夫も必須。皆の手・気持ちで良いものにしてほしい。</p>	<p>○「ライフスタディⅡ」発表会が3年ぶりに市民文化センターにおいて対面開催でき、多くの方々から賞賛を得られた。令和5年度においても本校の特色を対外的にアピールできるように計画していく。</p>
<p>13 事務管理</p> <p>○いつもの対応に感謝している。</p>	<p>○業務全体の効率化を図り、本校の</p>

<p>○定時での応答電話への切替など工夫が見られる。むり・むら・むだを省き、必要であることには十分誠意を持ってすれば良いと思う。ある意味、学校の窓口であるので頑張してほしい。</p>	<p>「顔」として愛顔（えがお）の丁寧な接遇に努める。</p>
<p>14 総合評価、提言等</p> <p>○市内の中学校が大変世話になっている。これからは南高生に指導していただくと、自分たちの目標もしっかりとできるようになり、中学生も成長していくことができると思う。よろしくお願ひしたい。</p> <p>○令和5年度は学校行事がかなり回復するそうであるが、今後のマスク着用をいつまで継続するのか。</p> <p>○文化祭を保護者側で協力できるよう、民間洋菓子店のケーキや屋台などの出店を考えている。</p> <p>○体育祭は保護者も参加できるような種目はないのか。</p> <p>○高校生の地方祭参加に際して、地区により安全面に差異があるようなので、より情報を集めてほしい。</p> <p>○この2年間、子供の様子を見てきて、子供を任せられる学校と認識しているので、進路、家事手伝いの対応等、継続して生徒の指導をお願いする。</p> <p>○PTA活動は不慣れなことも多いので、指導をお願いする。</p> <p>○この5年間ほど、学校評価に関わっているが、今年度は特に全体的評価が下がっているように感じた。特に、生徒がそのように感じているのは残念であり、方法や伝達に工夫が必要かとも思った。</p> <p>○生徒の出身校は、以前は上部地区がほとんどだったイメージがあるが、現在は市内・市外など、多校区から入学があるように思える。「近いから通う」ではなく「行きたいから行く」になっているようで少しうれしく感じる。</p>	<p>○学校関係者評価委員会において、「地域になくてはならない南高」という、うれしさを表現できないくらいの賞賛のお言葉をいただいた。今後も期待される南高であり続けるため、より一層の思案と行動を心掛けていきたい。</p> <p>○令和5年度からの学校教育活動におけるマスクの着用等、新しい基本方針での新型コロナウイルス感染症対策を家庭・地域等に丁寧に発信していく。</p> <p>○令和5年度からは、学校行事等の活動場面が活性化できることが期待される。PTAの方々をはじめ、御協力をお願いしていきたい。</p> <p>○今までに得られた「南高の良さ」以上に向上できるように協働していく。</p> <p>○緊急連絡方法が確実に保護者の皆様に定着した。</p> <p>○高校生の地方祭への参加については、市内の他校や関係機関との取り決めに従い、安全面を指導した上で地域文化に触れさせていきたい。</p>

○今の南高を築いてきた人たちのためにも、今後の卒業生のためにも、在校生、教職員が一丸となって良い学校にしてほしい。地域の方々、総合学科育成会等も協力を惜しまないので頑張ってください。

○南高生と近くで接したのは、昨年度と今年度の「別子銅山創造塾」で自彊舎・鷲尾勘解治の講座の時に、生徒の態度がすばらしかった。地域共創系列・ユネスコ部の生徒で、開始10分前に着席し、準備物も整っていた、玄関の靴の整頓が見事だった（中央を避け、片側にきちんと並べていた）、夏休み中に学ぼうとする意欲の高さなど、しっかりと正面を向いて受講している態度に、南高生のすばらしさを感じた。

○授業に関する生徒用アンケートの結果で、授業に対する満足度が80%以上であることに注目した。教員の指導の熱心さの表れだと思う。ただ、一人1台端末を使った授業はこれからの課題なのだろうか。どの学校でもこれから工夫されていくのではと思っている。

○本を読んでほしい。コンピュータ・スマホを使えば何でもすぐ調べられるが、本を読むことで文の奥にある想い、辞書を引く手間から広く得るものがある、この魅力を感じてほしい。

○新型コロナの収束まで、いろいろ大変なことが発生すると思われるが、教職員には健康に留意して、生徒たちを見つめて上げてほしい。

○南高だけでなく、現在行われている学校評価はアンケートを数値化したものである。しかし、アンケートには大きな幅があると思う。本心より一段背伸びして答える場合、逆に一段へりくだって答える場合、主旨を十分に理解できずに答える場合がある。したがって、アンケート結果にはかなりの幅や誤差がある訳で、それを数値化すると絶対値であるかのように思い、数値が独り歩きをする。アンケート結果を見る際は、そのあたりの考慮が必要かと思う。

○昨年度と同様で、学校評価に関するアンケート（生徒用及び保護者用）の評価項目の中には、生徒や保護者がこれに答えるには無理ではないかと思われる項目が散見される。もっと具体的にかみ砕いた方がいいのではないかと思う。

○「自己評価表」の学校環境の整備、南高満足度の向上、ボランティア活動の評価がEになっているが、教職員対象のアンケートでは、それぞれの評価数値が63、82、75となっている。これはどういうことなのか。

○これまで行われてきた学校評価は「全体評価」であるが、教育の目的はよく言われるように「生徒一人一人の個性を見つけ引き伸ばす」ことであるから、生徒一人一人がどれだけ成長したかを評価する「個別評価」も大切だと思う。通知表などで既に行われているところであるが、一層の充実発展を願う。

○先日、午後5時を少し過ぎて南高へ電話をしたら、業務終了で通じなかった。県全体でそういう制度になったのだと思うが、5時を過ぎれば生徒も全員下校することになったのだろうか。そうではないとすると、保護者などから子供への緊急連絡などで支障があるのではないかと危惧する。